

事前評価個表

整理番号	25
------	----

地域（地区）名	みどりかわ 緑川	事業名	森林環境保全整備事業
計画策定主体	熊本県	対象市町村	うまき 宇城市ほか7市町
事業実施期間	R6年度～R10年度（5年間）	事業実施主体	県、市町、森林組合等

事業の概要・目的	<p>本地区は、熊本県の南部に位置する本県を代表する林業地域であり、対象民有林は49千ha、うちスギ、ヒノキを主体とした人工林は32千ha（人工林率58%）となっている。</p> <p>人工林の齢級構成は、7齢級以上の森林が94%を占めており、本格的な利用期を迎えている一方、保育や間伐等を必要とする3～12齢級の森林が52%もあり、増大する利用可能な資源の活用と適正な管理が必要となっている。</p> <p>このため、主伐を推進し、充実した森林資源の有効活用による地域の林業・木材産業の振興を図るとともに、主伐後の再造林や間伐等といった森林施業を適確に実施し、水源涵養等の森林の有する公益的機能を持続的に発揮させる必要がある。</p> <p>本事業は、森林の有する公益的機能の維持増進及び木材の安定供給の確保を図るため、再造林や間伐等の森林整備を、施業の集約化による効率化を図りつつ実施するものである。</p>
事業内容・事業費	<p>森林整備：2,457ha</p> <p style="padding-left: 40px;">人工造林、下刈り、除伐、枝打ち、間伐等</p> <p>総事業費：2,303,540千円（税抜き2,094,128千円）</p>
費用便益分析結果	<p>B/C=5.13</p> <p>（総便益（B）＝ 18,237,873千円、総費用（C）＝ 3,556,019千円）</p>
評価結果	<p>必要性： 主伐後の再造林や間伐等の森林整備が必要な人工林が多くを占める地区であり、森林の有する公益的機能の維持増進を図るためには、森林整備が必要であることから、事業の必要性が認められる。</p> <p>効率性： 森林施業の集約化による効率的な森林整備を推進することとしており、費用便益分析結果からも、事業の効率性が認められる。</p> <p>有効性： 森林整備によって、森林の有する公益的機能及び木材等生産機能の維持増進が図られることが期待されるため、事業の有効性が認められる。</p>

便 益 集 計 表

(森林整備事業)

事業名：森林環境保全整備事業

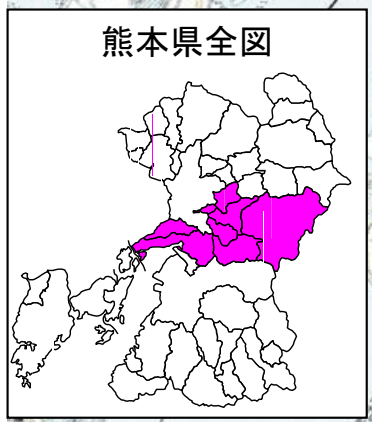
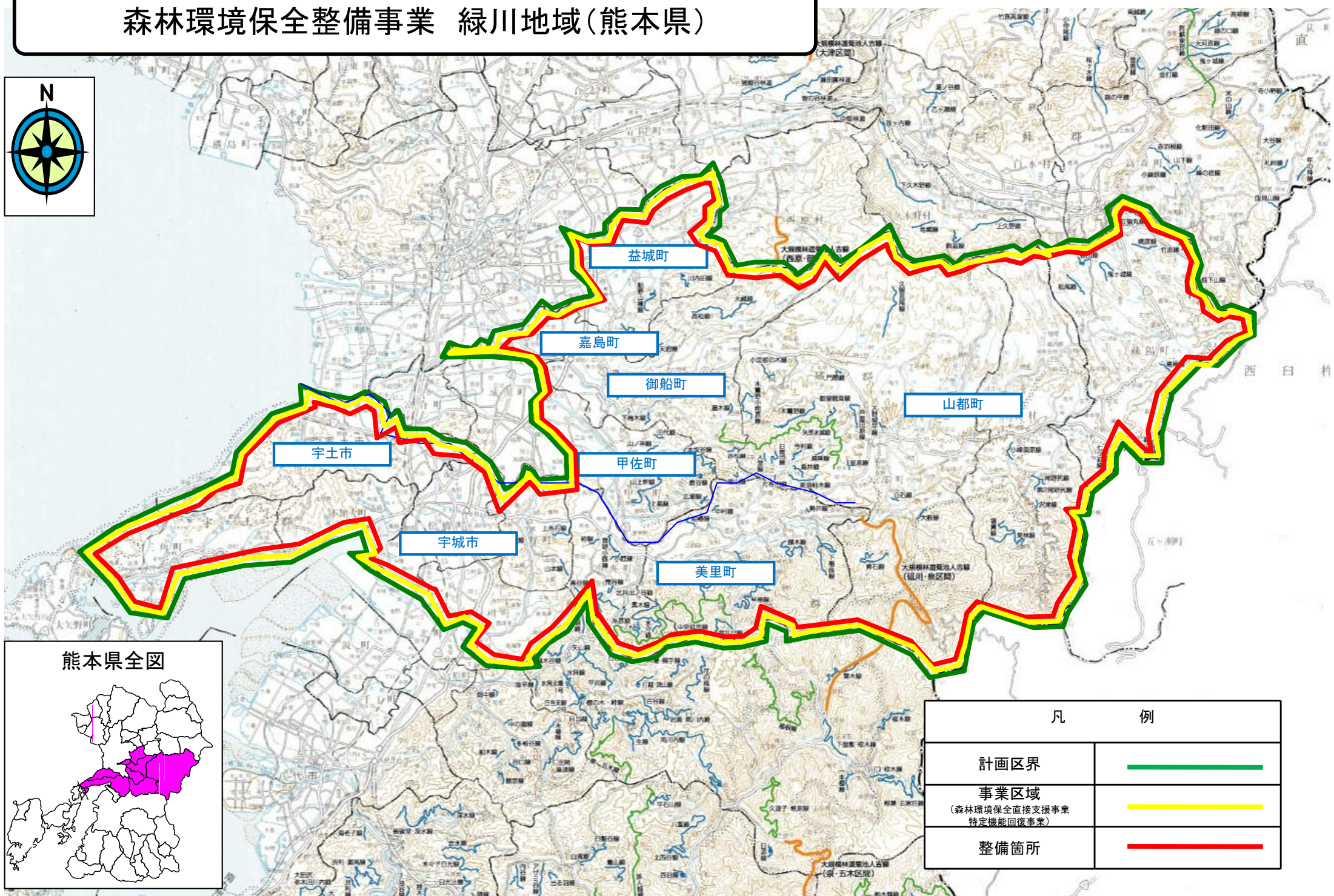
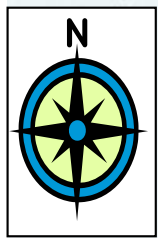
都道府県名：熊本県

地域(地区)名： 緑川

(単位：千円)

大 区 分	中 区 分	評価額	備 考
水源涵養便益	洪水防止便益	7,227,199	
	流域貯水便益	1,510,552	
	水質浄化便益	5,940,119	
環境保全便益	炭素固定便益	1,269,396	
木材生産等便益	木材生産確保・増進便益	2,290,607	
総 便 益 (B)		18,237,873	
総 費 用 (C)		3,556,019	
費用便益比	$B \div C = \frac{18,237,873}{3,556,019} = 5.13$		

森林環境保全整備事業 緑川地域(熊本県)



凡	例
計画区界	
事業区域 (森林環境保全直接支援事業 特定機能回復事業)	
整備箇所	